

# Mr. Bassman (ベースマン列伝) Vol.49

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変……。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

## Pops Foster【ポップス・フォスター】

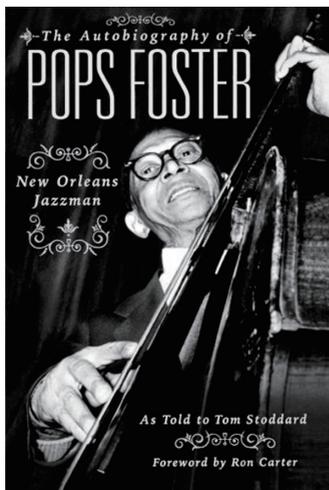


Photo from "The Autobiography of Pops Foster" (Backbeat Books)

### Profile

1892年5月19日、米国ルイジアナ州マッコール生まれ。本名はGeorge Murphy Foster。“Pops”はニックネームで、バンド内で年上だったため“おやじさん”的な意味で付けられたという説やサッチモの愛称でもあったため自身で選んだ等の説がある。音楽一家に育ち、10歳の頃に一家でニューオーリンズに移る。幼少期からチェロを弾き、兄弟トリオで活動。その後ベースを弾き始め、1907年よりプロ活動を開始。フェイト・マブラブル楽団、キッド・オリイ楽団等に参加。17年から20年にかけてリバーポートのバンドで活動。21年にセントルイスに移り、チャーリー・クレス等のバンドで活動。23年にはLAでキッド・オリイ等と共演。29年にNYに進出し、35年までルイス・ラッセルのバンド、35年から40年までサッチモのバンドで活躍。40年代にはシドニー・ベシェ等のバンドで活動する他、ラジオのジャズ番組にも出演。52年にジミー・アーチェイのバンドで欧州ツアーに参加。その後、NYのセントラル・プラザに定期出演。50年代後半から60年代前半にかけてアール・ハインズのバンドで活動。60年代半ばまで活動を行うが、その後体調を崩し闘病生活を送る。1969年10月29日、血栓や胃の腫瘍等の合併症により米国カリフォルニア州サンフランシスコで息を引取る。享年77歳。

## STRING・ベースのパイオニア的存在

10代半ばでアップライト・ベース奏者としてプロ活動を開始していたポップス・フォスターは、“STRING・ベースのパイオニア”と称され、強靱なスラップ・ベース奏法でも名を馳せた。60年以上に及ぶキャリアの中で、サイドマンとしてベースで参加した音源・アルバムは残されているが、リーダー・アルバムとしては1968年にレコーディングされたピアニストのアート・ホーデスとのアルバム『ジョージ・“ポップス”・フォスター・ウィズ・アート・ホーデス』の1枚のみが残されている。だが、その死後から2年ほど経った1971年に、生前残された約70時間に渡るインタビューからまとめられた自叙伝が発行され、2005年に新版（※表紙写真掲載）が発行されている。プライベートでは2度結婚しており、1912年20歳の頃にバーサ（Bertha Foster）、1936年にアルマ（Alma Foster）という女性を妻にしている。

### PF's Great Albums

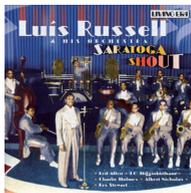
リーダー・アルバムはアート・ホーデスとのアルバム1枚のみだが、他の参加アルバムからも“STRING・ベースのパイオニア”と称されたベースマン魂を感じて欲しい。



#### ジョージ・“ポップス”・フォスター・ウィズ・アート・ホーデス ポップス・フォスター

(American Music : AMCD-105) [Import CD]

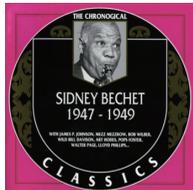
1968年、死を迎える約1年前にアート・ホーデス (p) とのデュオでレコーディングしたポップス生涯唯一のリーダー・アルバム。全16曲収録。



#### サラトガ・シャウト ルイス・ラッセル

(Living Era : CDAJA-5658) [import LP]

1929-1934年にかけて録音されたピアニスト、ルイス・ラッセル率いるオーケストラの音源25曲収録。ポップスがベースで参加。2007年発売。



#### シドニー・ベシェ 1947-1949 シドニー・ベシェ

(Classics Jazz : CLASSICS-1112) [Import CD]

ニューオーリンズ出身のクラリネット奏者シドニー・ベシェが、1947年から1949年にかけて録音した全21曲を収録。ポップスがベースで参加。



#### ジャズ・アット・タウン・ホール Various Artists

(Sounds Of Yesteryear : SOYY-9556) [Import CD]

ポップスの他、シドニー・ベシェ、ジェームス・P・ジョンソン、ピー・ウィー・ラッセル等、総勢13人のアーティストが参加したアルバム。全12曲収録。